

2011年6月13日
阪神電気鉄道株式会社

阪神本線連続立体交差事業（鳴尾工区）の仮上り線路への切替について

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：藤原崇起）では、阪神本線連続立体交差事業（鳴尾工区）について、兵庫県・西宮市とともに、2003年度の都市計画事業認可以降、事業に着手し、その後、用地買収等を経て、2009年5月から仮上り線路の工事を進めてきました。

この度、仮上り線路（梅田・大阪難波行き）の工事が完了し、現在のり線路を走行している電車が、2011年7月9日（土）の始発から、現在のり線路を仮上り線路に切り替えて運行を開始します。

切替の概要等につきましては以下のとおりです。

◆ 仮上り線路への切替概要 ◆

- (1) 切替日時 2011年 7月 9日（土）始発から
- (2) 切替区間 甲子園駅から武庫川駅西方までの間

◆ 阪神本線連続立体交差事業（鳴尾工区）のあらまし ◆

(1) 概要

阪神本線連続立体交差事業（鳴尾工区）は、阪神電鉄の甲子園駅から武庫川駅間の踏切を除去し、連続的に高架化するとともに、交差道路や側道の整備することで、道路交通の安全性の向上と円滑化を図る等の事業であり、都市計画事業として進めています。

- 事業区間 : 甲子園駅～武庫川駅間 約1.87km
- 高架になる駅 : 1駅（鳴尾駅）
- 除去する踏切 : 6箇所
- 整備する道路
- 交差道路 : 9路線（競馬場線、小曾根線など）
- 側道 : 5路線（付属街路鳴尾1号線など）
- 総事業費 : 約297億円

(2) 事業の経過

- 2003年3月 都市計画決定
- 2003年9月 都市計画事業認可
- 2009年5月 工事着手

< 位置図 >



< 切替順序図 >

